

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 13
- 食を育てる 15
- カルチャー 16
- 町の情報ひろば 18
- 特集 交流そして協働へ 20

ひとりひとりが
まちの経営者



●編集発行／上毛町役場企画情報課
〒871-0000
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-2-11
TEL 0979-72-3111
FAX 0979-72-4664

●印刷／築上印刷(有)

人の動き

9月30日現在

- 人口 8,194 (-10)
- 男性 3,894 (-8)
- 女性 4,300 (-2)
- 世帯数 3,102 (±0)

参考

平成17年10月11日
合併時

- 人口 8,499
- 世帯数 3,057

ごみの量

9月30日現在

- 可燃ごみ 124.05t (-16.17t)
- カン・ペットボトル 5.22t (+0.96t)
- びん 6.69t (+0.12t)
- 古紙他 16.75t (-2.66t)
- 可燃粗大 3.24t (-0.08t)
- 不燃 6.53t (-1.86t)
- プラスチック製容器包装 1.68t (-0.69t)
- 紙パック、白色トレイ 0.09t (-0.01t)

ひとりひとりが まちの経営者



郷土に誇りを持ち、日々邁進していきます。

改めまして、上毛町制施行5周年おめでとうございませう。

先日は、その記念式典において講演の機会を与えて頂き、大変光栄に感じるとともに、心より感謝申し上げます。

生まれ育った故郷に対する僅かながらの恩返しと思ひ講演を引き受けましたが、皆様の温かい出迎え、終始熱心な聴講の姿に接して、久しぶりに充実し喜びに浸った時間を過ごすことができました。

防衛省・自衛隊を取り巻く環境は依然として厳しく、国防組織としての真価が問われる状況が続いています。皆様の期待に沿えるよう、陸上幕僚長として、また上毛町に生まれた人間としての誇りを持って、「一意専心」強靱な陸上自衛隊の創造のため邁進する所存でございます。

今後とも、防衛省・自衛隊に対するご理解とご支援をお願い申し上げます。とともに、上毛町と町民の皆様との益々のご発展・ご健勝を祈念致しております。ありがとうございます。

防衛省陸上幕僚長
火箱 芳文氏 [中村出身]

ひとりひとりがまちの経営者

こうげ KOGE absolute peach 素敵人

人権を守り育てる 私たちの使命

「人権の世紀」と言われる21世紀に入つてすでに10年が経過しました。この間の日本の人権擁護の状況はお寒いばかりです。子殺し・親殺し、子どもやお年寄り・障害者・女性など社会的弱者への虐待等々あげればきりがありません。なぜ、このような心が凍てつくような世の中になつてしまったのでしょうか...

私たちは、誰もが自分の命を大切に、人間らしく幸せに生きたいと願っています。しかし、戦前は国家主義のもと、この願いはないがしろにされ人権擁護の思想は封印されていきました。やがて戦後になって、多くの国民の血と汗の積み重ねによって獲得した人権の貴重なる財産とも言える基本的人権を守るには、国民一人ひとりが人権意識を身につけ、いざさらばこの権利の上にあらざらぬと、戦前にはなかった守り育てていかなければならぬと、戦前にはなかった

「人権の花を咲かせよう」をキャッチフレーズに、地域のみなさんの相談役として、人権擁護に熱い志を持って活動されている4名を紹介いたします。

人権擁護委員(左から)

緒方武雄さん 百留 矢子さん 林田君代さん 峯正弘さん
[安雲] [百留] [安雲] [東上]

学校などでの人権啓発活動や、皆さんから寄せられる人権相談などが中心です。皆さんには馴染みの薄い人権擁護委員だと思いがちですが、人権擁護に関心を持ち、人権擁護委員制度について少しでもご理解をいただければと筆をとりました。

わずか4名の委員ですが、人権侵害等で周りに相談もできず、悩み、苦しんでいるなら、まず私たちに声をかけてみて下さい。法律に詳しい法務局の職員にも相談しながら、解決に向けての手立てを一緒に考えていきたいと思います。

こんにちは。企画情報課の森重一です。

秋も深まり、朝晩の冷え込みが、だんだんと冬の訪れを感じさせてくれるようになってきました。でも、「寒くなってきましたね」と挨拶代わりに話をしていると、突然、暑くなることもあって、相変わらずの異常気象にうんざりしています。風邪も流行っているようです。何事も体が資本。体調管理には気をつけなければと、自分に言い聞かせます。

さて、上毛町は、先月、10月11日に、5回目の誕生日を迎えました。新古富村と大平村が合併して5年が経ちましたが、「上毛町」はそれぞれの良さを活しながら、より魅力ある町に、日々成長していると感じています。

町の自慢は、豊かな自然の中で育まれてきた修験などの歴史や文化に、おいしい食べ物も豊富にあること。そして、一番の自慢は、地域の皆さん、「人」が頑張っていることだと思っています。地域で志のある「人」が行動することで、町の素晴らしい資源に磨きがかかり、交流も進んでいます。その皆さんの原動力は何か。それは、地域や人への「誇り」ではないでしょうか。

また、10月11日に開催された町政施行5周年記念講演会では、中村地区出身で陸上幕僚長の火箱芳文さんが御講演くださいました。講演終了後、会場の外に出ると、地元の人に囲まれた火箱さんの姿がありました。皆さん、とてもうれしそうに、話かけたり、写真を撮ったりしていました。同郷から偉人が輩出されたのを「誇り」に感じている。そんなふうに感じて、自分までほのほとした気持ちになりました。皆さんが「誇り」に感じること。とても大事なことだと思います。私たちが地域をしっかりと見つめ直し、皆さんがずっと誇れる町になるように、考えていかなければならないと思っています。

編集後記

PRINTED WITH SOY INK
地球に優しい植物性インク(大豆インク)を使っています。

http://www.town.koge.lg.jp